

令和5年度 中高生俳句バトルinあらかわ 各リーグ対戦結果

Aリーグ

	立教 池袋B	海城A	開成高
立教 池袋B		○ 2-1	× 0-3
海城A	× 1-2		× 1-2
開成高	○ 3-0	○ 2-1	

Bリーグ

	開成中 1試合目	名古屋A 1試合目	開成中 2試合目	名古屋A 2試合目
開成中 1試合目		× 0-3		
名古屋A 1試合目	○ 3-0			
開成中 2試合目				× 1-2
名古屋A 2試合目			○ 2-1	

令和5年度 中高生俳句バトルinあらかわ 各リーグ対戦結果

Cリーグ

	名古屋B	横浜 翠嵐	山形東
名古屋B		× 0-3	○ 3-0
横浜 翠嵐	○ 3-0		× 0-3
山形東	× 0-3	○ 3-0	

Dリーグ

	海城B 1試合目	立教 池袋A 1試合目	海城B 2試合目	立教 池袋A 2試合目
海城B 1試合目		× 1-2		
立教 池袋A 1試合目	○ 2-1			
海城B 2試合目				○ 1-2
立教 池袋A 2試合目			× 1-2	

令和5年度 中高生俳句バトルinあらかわ 準決勝・決勝対戦結果

準決勝（第1会場：小ホール）

名古屋高校B	2 - 1	立教池袋高校A
--------	-------	---------

Cリーグ勝者

Dリーグ勝者

準決勝（第2会場：第7集会室）

開成高校	0 - 3	名古屋高校A
------	-------	--------

Aリーグ勝者

Bリーグ勝者

決勝（第1会場：小ホール）

名古屋高校A	4 - 1	名古屋高校B
--------	-------	--------

A・Bリーグ勝者

C・Dリーグ勝者

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ 第一試合 兼題「行」

白海城高等学校 A

3	2	1
行商の丸き背中や雪間草	急行に楽器を守る彼岸かな	行く春や腿湿らせる驢馬の鼻
高1	高2	高1
永所 勇人	濱野 佑太	金子 晃

赤立教池袋高等学校 B

3	2	1
寒明にふらふらとある行書体	生れつきかなし夜行のやどかりは	春寒し剣道場に行書のみ
中1	高2	高2
一條 裕仁	栗本 拓実	大竹 七生

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ 第二試合 兼題「交」

白立教池袋高等学校B

3	2	1
交番の多き町なり炉の名残	やどかりゐてふと交易の始まりぬ	蜂飛び交へり墓さらさらと水を受く
高2	高2	高2
栗山 輝	栗本 拓実	大竹 七生

赤開成高等学校

3	2	1
東京のヒヤシンス交信したる	交差して蜷の道やや起伏せる	鳥交る竹林に鋸忘れられ
高1	高2	中3
鬼澤優太朗	下島 力	田中 仁

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ 第三試合 兼題「年」

白開成高等学校

3	2	1
十年の漂つてゐる海市かな	貝塚は千年黙し春の風	囀や少年の弓やはらかに
中3	高2	中3
太田 惺	下島 力	田中 仁

赤海城高等学校 A

3	2	1
野遊や青年の声真つ直ぐに	晩年の図鑑やはらか蝶の昼	少年の腕組みほどけ涅槃西風
高1	高2	高3
佐藤 拓智	濱野 佑太	大山圭一朗

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ 第一試合 兼題「行」

白名古屋高等学校 A

3	2	1
行く雁や鍵に傷つく鍵の札	春の風行司土俵を一周す	行く春やガムシロップの半開き
中3	高2	高1
東野 礼豊	服部 亮汰	田籠 瑛

赤開成中学校

3	2	1
行く春の影追ひかけてゐる猫よ	土筆野を行く遥かなる歌唱ひ	行く春の靴ぶらさげる重さかな
中1	中1	中2
谷平 寛治	竹中 志雲	原島 奏

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ 第二試合 兼題「年」

白開成中学校

3	2	1
少年のあだ名は博士初桜	厄年の三人集ふ桜餅	つばくろよフルスイングの少年よ
中2	中1	中2
原島 奏	谷平 寛治	田中 煌人

赤名古屋高等学校 A

3	2	1
百年後も春離乳食食べてみせ	春シヨール羽織りみて年齢不詳	享年の分からぬ武士や花楓
高2	高1	中3
服部 亮汰	福田 匠翔	東野 礼豊

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Cリーグ 第一試合 兼題「行」

白横浜翠嵐高校

3	2	1
行く春やフルート磨く磨く磨く	行進の軽やかにずれ春うらら	若草やころころと行く三輪車
高1	高1	高2
清水 風希	吉岡 心晴	河合菜々子

赤名古屋高等学校B

3	2	1
豆の花旅行の後の吹き出物	行く春やインタビューに磨硝子	花冷を下がる飛行機誘導員
高2	中2	高2
三浦 英雄	三輪 修平	加納 輝一

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Cリーグ 第二試合 兼題「交」

白名古屋高等学校B

3	2	1
春しぐれ影絵に指を組み交はす	鳥交る試食のそれぞれに楊枝	交代のあひだもぶらんこの揺るる
高2	高2	高2
小田 健太	加納 輝一	鈴木 哲平

赤山形東高等学校

3	2	1
つばくらめ交鈔の字のさむざむと	鳥交る鈍き音なるキーボード	交々に鯉に吸はるる落花かな
高2	高2	高2
三浦 温人	鈴木 沙都	須藤 臣人

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Cリーグ 第三試合 兼題「年」

白山形東高等学校

3	2	1
人間五十年水菜挟まりぬ	少年に古き瞼や木の根明く	磯巾着ひらいて去年の光かな
高2	高2	高2
三浦 温人	須藤 臣人	渡辺 悠月

赤横浜翠嵐高校

3	2	1
吊革へ伸びる少年夏近し	年下にコロツケ奢る春夕べ	春惜しむ経年劣化の部室棟
高2	高2	高1
新堀 笙子	河合菜々子	清水 風希

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Dリーグ 第一試合 兼題「交」

白立教池袋高等学校 A

3	2	1
草若しポール疎らな交差点	住職に箒掃除機鳥交る	麦踏や犬交々に水を飲み
高2	高2	高2
小林佳武以	川本 伊吹	大沼真木人

赤海城高等学校 B

3	2	1
点滅の交番の灯や穀雨の中	うつとりと入江に壺や鳥交る	交番に蕎麦の出前や花水木
高2	高1	高1
中村 治樹	島田 道峻	浅香 優

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

Dリーグ 第二試合 兼題「年」

白海城高等学校B

3	2	1
軍配の千年にほふ霞かな	中年の腰掛けてをる柳かな	青年の待ちしホームや風光る
高1	高1	中3
島田 道峻	浅香 優	土谷 海理

赤立教池袋高等学校A

3	2	1
脳年齢若返るかに桃花粥	年代の多様なチューリップありぬ	少年誌売場満員風光る
高2	高2	高2
池浦 俊暢	小林佳武以	川本 伊吹

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

準決勝戦（A・B） 兼題「旅」

白名古屋高等学校 A

3	2	1
旅土産ならべて狭し春こたつ	いぬめぐり旅館の茶菓子持ちかへる	ひとひらの花まぎれゐる旅鞆
高1	高2	中2
田籠 瑛	服部 亮汰	富田 輝

赤開成高等学校

3	2	1
傘の骨ひやり如月飛驒の旅	旅の身の旅する蝶とすれ違ふ	旅先に海みるための半仙戯
高1	高1	中3
鬼澤優太朗	工藤 直樹	田中 仁

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

準決勝戦（C・D） 兼題「旅」

白立教池袋高校 A

3	2	1
食べかけのお菓子ばかりの春の旅	大風にゆさゆさと旅送らるる	春眠で遅れる前提の旅程
高2	高2	高2
川本 伊吹	大沼真木人	小林佳武以

赤名古屋高等学校 B

3	2	1
山桜旅館の鯉の太りをり	旅先のマクドナルドや春時雨	旅客機の腹の真白し夏隣
高2	高2	中2
三浦 英雄	鈴木 哲平	三輪 修平

令和五年度 中高生俳句バトル in あらかわ

決勝戦 兼題「人」

白名古屋高等学校 B

5	4	3	2	1
いつも会ふ人から貰ふ蓬餅	山焼きを中途半端に終へる人	三人のひとり金髪潮干狩	天守より手を振る人や春日和	雪解や人工呼吸器の曇る
高2	高2	高2	高2	中2
小田 健太	三浦 英雄	加納 輝一	鈴木 哲平	三輪 修平

赤名古屋高等学校 A

5	4	3	2	1
春眠し指人形に指入れて	とこしへに人待つてゐる花筏	蜜蜂やシンバルの人暇さうに	爪を切る人の猫背や春の雪	パズル組む人に春服掛けておく
高1	高1	中3	高2	中2
田籠 瑛	福田 匠翔	東野 礼豊	服部 亮汰	富田 輝

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

開成中学校 兼題「交」

3	2	1
鳥交る二酸化炭素濃くなりぬ	春疾風何でも交差する都会	交番に第一本風光る
中2	中2	中2
田中 煌人	有澤 大輝	原島 奏

開成中学校 兼題「旅」

3	2	1
逃水ときれいな旅をしてをりぬ	海胆割つて旅のあはれの滲み出す	閉ぢきらぬ旅の鞆や水温む
中2	中1	中2
原島 奏	竹中 志雲	有澤 大輝

開成中学校 兼題「人」

5	4	3	2	1
死後などを語る二人の春休	暇人に更なるいとま桃の花	電柱はいつも一人よ春疾風	沈黙の二人の座る半仙戯	春の月三号室の人の猫
中1	中2	中2	中2	中1
竹中 志雲	有澤 大輝	原島 奏	田中 煌人	谷平 寛治

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

開成高等学校 兼題「行」

3	2	1
銀行の日永白濁してをりぬ	山桜水の行方をうたがはず	行く春や色豊かなる離乳食
高2	中3	中3
下島 力	太田 惺	田中 仁

開成高等学校 兼題「人」

5	4	3	2	1
人情がみなぎつてゐる蛙かな	二人であることも春愁ではないか	長椅子に人を見てゐる花疲	しあはせで大人のゐない蝌蚪の国	あざやかなヒジャブ三人鳥交る
中3	高1	高1	高2	高1
太田 惺	工藤 直樹	佐藤 義貴	下島 力	鬼澤 優太朗

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

海城高等学校 A 兼題「交」

3	2	1
入口の狭き靴屋鳥交る	長閑さや色の交わる筆の先	交番の階段狭しヒヤシンス
高1	高1	高2
金子 晃	佐藤 拓智	濱野 佑太

海城高等学校 A 兼題「旅」

3	2	1
旅寝して硫黄の匂ひいぬめぐり	麗かや旅情は京の高座椅子	風光る旅の窓より舌出して
高2	高1	高1
濱野 佑太	佐藤 拓智	金子 晃

海城高等学校 A 兼題「人」

5	4	3	2	1
桜蔭降る地に恋すべき火星人	岬より離島の浜に磯人見え	その人の道にカタクリ咲くといふ	山茱萸の花人中にこのにきび	銀行に悪人のみぬ遅日かな
高1	高1	高3	高1	高2
佐藤 拓智	豊原 一誠	大山圭 一朗	金子 晃	濱野 佑太

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

海城高等学校B 兼題「行」

3	2	1
鈍行が発つ陽炎となるために	鳥の巣や声の大きな修行僧	銀行の看板赤し花の雨
高1	高1	高1
島田 道峻	浅香 優	岡村 潤

海城高等学校B 兼題「旅」

3	2	1
金縷梅や長旅はあたらしき靴	春昼のどこへ旅するポリ袋	白梅や旅のボトルの透けてをり
高1	中3	高1
島田 道峻	高山 惺士	浅香 優

海城高等学校B 兼題「人」

5	4	3	2	1
ネーブルや一人に夜道うす長く	老人の座り歩いて日永かな	人来鳥寝癖に頭引つ張られ	人を見て育つてゆくや寒桜	職人の指先太し花の雨
高2	高1	高1	高1	高1
中村 治樹	張 澤埴	島田 道峻	浅香 優	岡村 潤

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

立教池袋高等学校 A 兼題「行」

3	2	1
行く春や絹布のごとく空かるし	行列の果に先輩いぬふぐり	奥行の浅き仲見世春の風
高2	高2	高2
大沼真木人	川本 伊吹	小林佳武以

立教池袋高等学校 A 兼題「人」

5	4	3	2	1
雪解けるほどに人件費の増ゆる	仙人掌に足のもつれて春のでふ	人と目を合はせぬやうに雪柳	旅人の薫りに慣れて浅蜷売	名をもらふ人体模型水ぬるむ
高2	高2	高2	高2	高2
池浦 俊暢	大沼真木人	小林佳武以	水野 昌幸	川本 伊吹

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

立教池袋高等学校B 兼題「年」

3	2	1
淡雪が築年数の分降りぬ	春やおほきく生年月日欄に丸	年寄のきむちが美味い春暖炉
高2	高2	高2
栗山 輝	大竹 七生	栗本 拓実

立教池袋高等学校B 兼題「旅」

3	2	1
旅の手を透きとほしけり寒の水	永き日や地蔵と旅をしてみたし	春天やわが飼ひ犬に旅心
高2	高2	高2
栗山 輝	栗本 拓実	大竹 七生

立教池袋高等学校B 兼題「人」

5	4	3	2	1
俳人に師の限りなき日永かな	目刺買ふ目刺のやうな人の列	だらだらと晴れて一人の伊勢参	空のよく似合ふ磯人の背なりけり	残雪をわざわざ踏みにくく旅人
高2	中1	高2	高2	高2
大竹 七生	一條 裕仁	栗本 拓実	栗山 輝	佐藤 奏心

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

名古屋高校 A 兼題「交」

3	2	1
丘なせるポテトサラダや鳥交る	遠足の列の途切るる交差点	鳥交る耳より大きいヤリング
高2	高1	中3
服部 亮汰	田籠 瑛	東野 礼豊

名古屋高校 B 兼題「年」

3	2	1
万年の果ての寄居虫かもしれず	少年の破顔に犬歯木の芽晴	一族の晩年を知る雛かな
高2	高2	高2
加納 輝一	小田 健太	三浦 英雄

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

横浜翠嵐高等学校 兼題「交」

3	2	1
永き日や交番に食いかけの飯	忘れ雪に手形の残る交差点	春雨や交わる枝をすり抜けて
高2	高1	高1
新堀 笙子	清水 風希	中山 一詩

横浜翠嵐高等学校 兼題「旅」

3	2	1
春日傘買うて家路の旅路めく	角立てて旅に出たしと田螺鳴く	菜の花のコロッケ旅の軒先に
高2	高1	高1
新堀 笙子	吉岡 心晴	中山 一詩

横浜翠嵐高等学校 兼題「人」

5	4	3	2	1
花人を追い越していく家路かな	人はみな誰かの子ども春の土手	別人のような横顔夜の桜	まだ人の踏まぬところや残る雪	人を待つ愛は朝寝のようなもの
高1	高2	高1	高1	高2
吉岡 心晴	河合菜々子	清水 風希	中山 一詩	新堀 笙子

令和五年度 中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句

山形東高等学校 兼題「行」

3	2	1
春行けり南京錠をいぢくれば	藤の花銀行印の掠れをり	手鏡を持ちて行きたり蛸蛸の国
高2	高1	高2
渡辺 悠月	武田こはる	鈴木 沙都

山形東高等学校 兼題「旅」

3	2	1
何もなきところを旅し孕鹿	亀鳴けるごとくに旅に眩けり	アスパラガス齧りて旅の手に余す
高2	高2	高2
渡辺 悠月	三浦 温人	鈴木 沙都

山形東高等学校 兼題「人」

5	4	3	2	1
ヒヤシンス人事不省に色あらば	鶴引くや人家ぐんぐん現れて	万愚節に生まれし人の辛さあり	人影に踏み潰さるる土筆かな	風信子人人と書いて飲む
高2	高2	高2	高1	高2
須藤 臣人	渡辺 悠月	三浦 温人	武田こはる	鈴木 沙都